

101-37

問題文

好中球前駆細胞の分化・増殖を促進する顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)製剤はどれか。1つ選べ。

1. ピリドキシン
2. ダルベポエチンアルファ
3. フィルグラスチム
4. エルトロンボバグ
5. メコバラミン

解答

3

解説

選択肢 1 ですが

ピリドキシンは、ビタミン B₆ の一種です。G-CSF 製剤では、ありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

ダルベポエチンは、遺伝子組み換えエリスロポエチン製剤です。赤芽球系前駆細胞に直接作用し造血効果を発揮します。G-CSF 製剤では、ありません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は、正しい選択肢です。

名前の語尾に「グラスチム」が入ったら、G-CSF 製剤と判断してOKです。

選択肢 4 ですが

エルトロンボバグ（レボレード）は、経口血小板増加薬です。トロンボポエチン受容体作動薬です。慢性特発性血小板減少性紫斑病の治療薬です。G-CSF 製剤では、ありません。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが

メコバラミンは、ビタミン B₁₂ 製剤です。G-CSF 製剤では、ありません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 3 です。